

Japanese Patent Office (JP)
Utility Model Publication (U)

Utility Model Publication Number
No. SHO 31-17557

123 D 2 (8 A 24)

Publication Date: October 30, 1956

Filing Date: August 28, 1953

Filing Number: SHO 29-29755

Inventor: Yoshio UENO 4014-7 Shina-cho, Toshima-ku, Tokyo

Patent attorney: Kiyoshi HAYAKAWA

Title: SPOOL

History of this utility model

The present utility model makes use of UM No. 422353(UM publication No. 29-10935) such that a penetrating line hole in the diameter direction hole is formed in the center of a spool.

Claim:

A constitution of a spool as shown in drawings, wherein a pair of plates A, A, having an annular protruding portion 1, and a groove crossing the center of spool in a diameter direction, wherein an outer fringe 3, 3 approaches each other to mate by means of pressure so that a line penetrating hole is formed in the diameter direction

123 D 2
(8 A 24)

特 許 庁
実 用 新 案 公 報

4
実用新案出願公告
昭31-17557

公告 昭 31.10.30 出願 昭 29.8.28 実願 昭 29-29755

出願人 考案者 植 野 善 雄 東京都豊島区椎名町7の4014
代理人 弁理士 早 川 潔 (全2頁)

糸

巻

図 面 の 略 解

第1図は本案の平面図、第2図は縦断正面図、第3図は分解縦断正面図、第4図は下半部の平面図を示す。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本考案は両板 A, A に環状膨出部1と中央部に中心を横切る直径方向の凹溝2とを設け両板を合着せしめ外周縁3, 3を互いに圧接し且中央部に直径方向の糸通し孔を形成せしめた構造であつて両板 A, A はセルロイド板又は合成樹脂板等の任意薄板を使用し環状膨出部1及凹目2は圧搾型によりて相対的に成形し両板を合着することによりて糸を收容する環状袋と中心を横切る糸通孔を直径的に貫通し形成する。而して中央部又は環状膨出部の内側周縁はセルロイド板にありてはアミールアセトンを塗布して貼着せしめ合成樹脂の場合は加熱又は高周波電気によりて融着せしむる。環状膨出部1の外側周縁3, 3は互いに接近する様に屈曲せられ弾性的に圧接し糸を挟入し引き出し得る様にする。糸を巻装する際は外側周縁の一部を開き糸の一端を挿入し直径方向に貫通する凹溝2に

よりて作られた糸通孔に挿通し然る後外側周縁の相互圧接面間隙を通して糸を巻き付け環状袋内部に收容する。糸の最終端即ち糸口は外側周縁の相互圧接面間に挟持し一部を内部に露出する。

本考案は環状膨出部を有する両板の中央部に中心を横切る直径方向の凹溝を設けて両板を合着するを以て中央部に糸通し孔を形成し糸の一端を挿通して巻き付け得て巻き付始め糸の取付けに便利なるものであつて特に釣糸等の糸巻として有益なものである。

考 案 相 互 の 関 係

本考案は実用新案登録第422353号(実公昭29-10930号)に於ける糸巻の中央部に直径的に糸通し孔を形成したものであるから実施に当りて前記実用新案の権利を使用する。

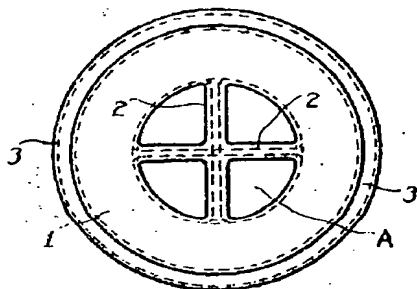
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示す如く両板 A, A に環状膨出部1と中央部に中心を横切る直径方向の凹溝2とを設け両板を合着せしめ外周縁3, 3を互いに圧接し且中央部に直径方向の糸通し孔を形成せしめた糸巻の構造。

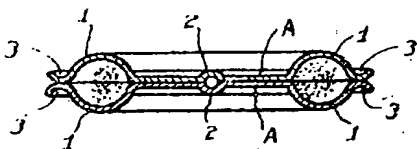
(2)

實用新案出願公告
昭31—17657

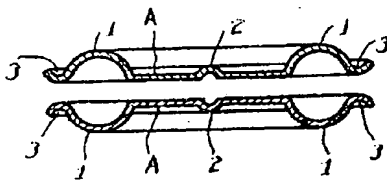
第1圖



第2圖



第3圖



第4圖

